

# 廃棄物における取り組み

## 東洋製罐グループ

### 廃棄物のリサイクル

2008年度の東洋製罐グループの有価物を含む総排出量は293千tonで、前年度比9%減少しました。そのうちリサイクルされた循環資源量は283千tonで、残りの10千tonが最終処分として埋立処理や単純焼却されました。2007年度に比べて7%と大幅に削減することができました。

また、総排出量に対してリサイクルにまわされた量の割合である循環資源化量は、96.6%で、2007年度から0.1ポイントの減少となっています。

### マテリアルリサイクル率

東洋製罐グループでは、有価で引き取られる「有価物」と、無償

あるいは逆有償で引き取られる「廃棄物」とに分類しています。このうち有価物のリサイクルは、ほぼ全量がマテリアルリサイクルされています。

一方、廃棄物のリサイクルはその一部がサーマルリサイクルされており、これらをマテリアルリサイクルへ転換すべく活動を推進しています。

2008年度の総排出量に占めるマテリアルリサイクル率は95.3%となり、2007年度に比べて0.2ポイントの向上となりました。

## 東洋製罐

### 2年連続ゼロエミッション達成

東洋製罐では、2008年度も工場から排出される有価物・廃棄物はすべてリサイクルされ、2年連続でゼロエミッションを達成しました。

## 廃棄物排出量

2008年度の有価物(金属作業屑除く)を含む総排出量は、26,304tonで、前年度比9%減少しました。このうち廃棄物排出量は、6,964tonで前年度比8.2%減少しました。

廃棄物の中で87.8%はマテリアルリサイクルされており、残りのサーマルリサイクルされているものをマテリアルリサイクルに転換すべく活動しています。

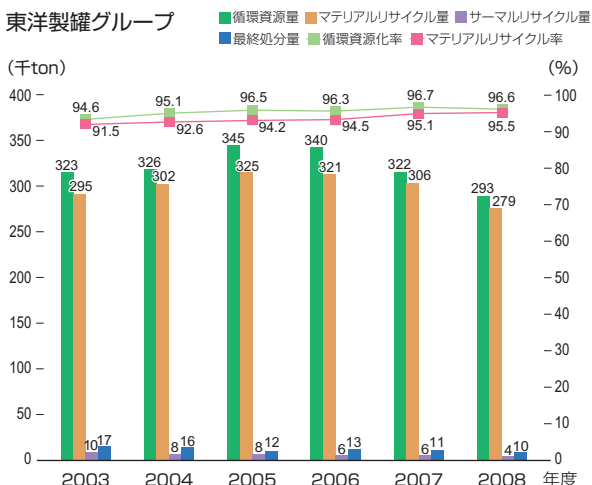
### サーマルリサイクル量削減

マテリアルリサイクルへの転換は、サーマルリサイクル量の削減で確認しています。

2008年度のサーマルリサイクル量は、846tonで2007年度に比べて-24.7%の大幅な削減となりました。

## 廃棄物の実績

### 東洋製罐グループ



### 東洋製罐

